

令和2年度法人事業計画

社会福祉法人 幸輝会

・ 法人の使命

人間尊重の基本理念の下、地域社会に根ざした福祉活動を通じて関係性の維持、再構築を図り、地域の基幹的支援施設としての役割を果たします。

・ 現段階の総括と課題、問題点

幸輝園の増床から定期巡回訪問介護の立ち上げまで一連の事業が完結し、令和2年度は養護老人ホーム塩手荘の指定管理がスタートします。法人全体の事業規模拡大に伴って、今後は本部機能の強化や拠点事業所間の連絡調整がこれまで以上に求められてきます。スケールメリットを生かした法人経営で利用者や地域、職員へも還元できる好循環を作り上げていくことで地域貢献や介護人材の確保にも繋げていく必要があります。

「経営」とは事業を継続・発展させる営みであり、刻々と変化する環境に適応していけるようマネジメントサイクルによって常に改善していくことが求められています。

・ 今年度法人の基本方針

社会福祉法人の本来の特性を生かして利用者の人権を常に尊重し、サービスの質向上へ不断の努力を重ねるとともに、地域の様々な生活・福祉課題に積極的に対応していけるよう主体性を持った自律的な法人経営を進めます。

・ 今年度法人の全体目標

『幸輝会の強みをさらに強化し、地域のニーズに応じて安心の暮らしを！』

・ 具体的数値目標（各拠点事業所単位）

- ◇ 経常収支差額比率：4～6%±1.0%（減価償却費率により）
- ◇ 事業活動人件費率：62%±1.0%
- ◇ 事業活動経費率：30%±1.0%

・ 具体的行動目標

- 社会福祉法人の健全性と透明性の確保（コンプライアンスの徹底）
- 福祉サービスの質の更なる向上（満足から感動へ）
- 地域における公益的な取組の推進（地域と共に）
- 福祉人材の確保とその定着・育成（働きたいと思える職場づくり）
- 財務規律の安定強化（スケールメリットの有効活用）

令和2年度事業計画

特別養護老人ホーム幸輝園「介護老人福祉施設」
「短期入所生活介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 近年、重度な方の入所が増えており、認知症状や医療依存度の高い方など、多くの介護量を必要とする入所が増えている。その為、職員の負担も増えており、職員の知識や技術の向上や福祉用具の活用等を図り、ケアの質の確保する必要がある。そして入所者の重度化に伴い、平均在籍期間が益々短くなり、本人・家族との信頼関係をより短期間に築いていく必要もある。
- ・ 介護環境や経済的な問題だけでなく、入所前に受けておられたリハビリテーションのサービスや医療体制の充実に伴い、入所後に求められているニーズも多様化している。その為他職種が専門性を持って連携し、個々のニーズに合った質の高いサービスを提供する必要がある。
- ・ 短期入所においても介護度の重度化も進行してきている。その為、ご家族、関係機関との連絡体制を強化することで情報共有をし、更なる信頼関係を深めていきたい。在宅生活を継続していく上で、生活機能の維持は不可欠であり、多様化するニーズにも答え、利用者の生活の充実が図られるよう利用期間中のプログラムを検討し取り組んでいきたい。

《サービス基本方針》

- ・ 全職種が協働してケアに当たれるようにカンファレンスの充実等を図り、質の高いサービスを提供します。
- ・ 多様で幅広い個々の利用者ニーズを尊重し、人生の最終ステージを安心して過ごしていただけるよう、各職種が協働で支援する。
- ・ 職員の資質向上のため、研修機会を確保して知識・技術の習得を援助する。ノーリフトケアの導入に向けた検討を始めるとともに、効果的に福祉用具を活用し、安全・安心・安楽なケアを提供します。

《行動目標》

安心 ・ 安全 ・ 安楽なケアで、ご利用者の穏やかな生活を支えます！

《数値目標》

- ・ 長期平均稼働率 96%（1日平均92名以上）
- ・ 短期平均稼働率 75%（1日平均13名以上）

令和2年度事業計画

高島デイサービス「通所介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・新規利用者数は徐々に増加傾向にあるものの、曜日に偏りがあり利用者の少ない曜日がある。少ない曜日に利用者が増えるような取り組みが必要である。
- ・個々に合わせたケアの統一ができておらず、寄り添いのケアが十分にはできていない。誰からも信頼して頂けるよう職員の質の向上・接遇マナーを徹底し、安全で安定したサービスを提供できるように努める。
- ・毎日楽しく充実した時間を過ごしていただけるように、運動機能向上プログラム開拓やアクティビティ活動の充実、情報収集に取り組んでいく。
- ・重介護度利用者の介護方法を習得する。

《サービス基本方針》

- ・他の事業所にはない質の高いサービス提供、笑顔と笑いが溢れるサービス提供を目標に地域で1番の信頼され愛される通所事業所をチーム一丸となって目指し、稼働率の維持・向上を図っていく。
- ・相手の気持ちに寄り添った声掛け・ケアを行うよう「報・連・相」を徹底し、ADLの低下防止に努め在宅生活の継続を支援していく。
- ・研修（職場内・外含む）へ積極的に参加しフィードバックを行い、職員全体の介護技術、コミュニケーション能力のスキルアップに努める。

《行動目標》

援助技術の研鑽と職員の連帯で、個々に合わせたサービス提供をし

「笑顔」溢れるセンターを目指す！

《数値目標》

- ・ 目標稼働率 70%（1日平均25名以上）

令和2年度事業計画

幸輝園ヘルパーステーション「訪問介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 在宅高齢者の生活全般を支援し多様化するニーズにも対応していける様、職員の介護技術や専門知識の向上を図っていく必要がある。
- ・ 利用者が増加している現状において、提供者のサービス水準に統一性がないと、利用者の混乱にもつながるので、利用者個々のケアプランを全職員が十分理解し、情報の共有化を図るためにも報告・連絡・相談を徹底する必要がある。
- ・ 職員の異動、採用による入れ替わりもあるが、安定的に利用者確保が出来るようご家族やケアマネからも信頼される事業所を目指していく。
- ・ 一昨年より新規利用者が増加しているが、引き続き安定した利用者確保をはかるとともに、提供体制を拡大、充実させていく必要がある。

《サービス基本方針》

- ・ サービス提供日時等の体制を拡大し、柔軟に対応していく。
- ・ 「報」・「連」・「相」を徹底で情報共有をし、職員全員が利用者ニーズに応え、丁寧なサービス提供に努める。
- ・ 職員間のチームワークを重視して、技術や知識のレベルアップを図り、質の高いサービス提供を行う。

《行動目標》

職員全員がワンチームとなり、質の高いサービスを提供していきます！

《数値目標》

- ・ 実利用者人数 50名（月延べ提供回数 350回以上）

令和2年度事業計画

さつき園「地域密着型介護老人福祉施設生活介護」
「短期入所生活介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・「ユニットケア」の実践により、「暮らしの継続」を目指し、職員の意識の中に着実に定着してきました。同時に、介護保険の理念である「利用者の尊厳の維持」や「自立支援」の実践についても、日々のケアの中で根付かせるように取り組んで来ました。しかし、一方で、医療的なケアの提供が欠かすことができない利用者が、さつき園での生活（生活の場）に戻ることが出来ない方もあり、さつき園での支援が「どこまで可能か？」を改めて振り返る1年でした。
- ・ショートステイの状況としては、利用者の状態やご家族のニーズにより現在利用されている方の利用日数が増加傾向にあり、稼働率は安定している。また、さつき園長期利用者が入院等で空床になっているベッドを積極的に活用し、利用ニーズの機会損失に対する意識をして取り組みました。しかし、新規利用者の獲得に繋がらず、利用者の状態如何によっては、急激に稼働率低下の一因となりうる。
- ・近年は入居要件として、要介護3以上の方が対象となるため、利用者の状態が変化し易くなっています。さつき園職員の各職種間は勿論、ご家族に対しても情報の共有を行うために、定期的なカンファレンスを開催し、利用者、家族、さつき園職員が「お互いに理解」して、さつき園の理念である「笑顔」・「自分らしい暮らしができる」を実現できるように努める。

《サービス基本方針》

- ・「利用者の尊厳」を維持するために、「不適切なケア」の撤廃を図ります。
- ・日々の生活の中で利用者の「笑顔」が多く出る暮らしを支援します。
- ・利用者の現状に合わせた「自分らしい暮らし」が出来るように支援します。
- ・利用者の変化に対して、早期に対応し、「暮らしの継続」に繋げるように支援します。
- ・職場における「働き方改革」を更に推進し、快適な職場環境改善を図ります。

《行動目標》

「ご利用者が日々の暮らしを自分らしく、笑顔で暮らせるように、

ご家族と一緒に考え、より善い支援の提供を行います。」

《数値目標》

- ・長期平均稼働率 94%（1日平均27名以上）
- ・短期平均稼働率 84%（1日平均8名）

令和2年度事業計画

かたらい「小規模多機能型居宅介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ 事業所の立ち上げから10年が過ぎ、地域の中でも少しずつ認知されているのではないかと考えています。小規模多機能の基本的な考えである「認知症になっても在宅で今の暮らしが継続できる」ことを目標に個々の暮らしに目を向け、型にはまったサービスではなく必要に応じてご家族と地域と協力しながら支援してきました。
- ・ 現在、レベル低下により毎日の利用や宿泊を希望される方が増えているのが現状です。「いつまで在宅生活ができるのだろう。」「どのタイミングで施設を考えればいいのか」と不安な気持ちをできるだけ支えるように取り組んでいます。季節の行事、いろいろな取り組み、個々に合ったプログラムの提供を通して「楽しかった」「できた」を感じてもらえるよう職員も一緒に楽しみ、笑い声が聞こえる毎日を過ごしていきたいと思えます。今後もご利用者やご家族に信頼される「かたらい」、頼れる存在の「かたらい」を目指し、取り組んでいきます。

《サービス基本方針》

- ・ 一人ひとりの「思い」や「～したい」が実現できるようにその人らしい暮らしに向けて自立支援を応援します。
- ・ 家族とのコミュニケーションを密に行い、ご利用者の生活全般を支援していくよう状況や要望に応じたサービスに努めます。
- ・ 個々の地域活動や地域資源を把握し、今まで暮らした地域の中で生活が継続でき、今までの関係を閉ざさないように支援いたします。
- ・ サービス評価（自己評価と地域からの評価）において、サービスの振り返りをスタッフ全員で行い、地域も交え、より良いサービスを目指します。

《行動目標》

ご利用者の「楽しい」を応援しよう

～毎日をより充実したものに～

《数値目標》

- ・ 登録利用者率 90%（平均登録人数26名）

令和2年度事業計画

幸輝園デイサービス「通所介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・ご利用者の高齢化と重度化に伴い、一人当たりのご利用者の利用回数が増える傾向にある。入院等で稼働率が下がるリスクもあるため、新規ご利用者の確保に努める必要がある。
- ・個別機能訓練加算の記録等に iPad を導入し、作業の効率化を図り、効果的なプログラムの提供を図る。
- ・介護保険制度上、通所介護に求められていることを理解し、ご利用者やご家族のニーズを把握し、安心して在宅生活が維持できるようなサービス提供を行う。
- ・地域に必要とされる事業所であり続けるために、地域との繋がりをさらに深められるよう、地域交流会を続けていきたい。
- ・ご利用者、ご家族や地域の方々に信頼していただけるよう、職員のサービスの質の向上と接遇マナーに努め、提供するサービスの標準化を図り、職員のスキルアップができるように努める必要がある。

《サービス基本方針》

- ・住み慣れた環境・自宅で1日でも長く生活できるよう、現在でのADLを維持できるようなプログラムの提供を行う。
- ・1つでも多くのヒヤリ・ハットに気付き、事故を未然に防ぐことに努める。
- ・地域交流を深め、地域の福祉課題に積極的に取り組み、地域に必要とされるサービス事業者・援助者を目指す。

《行動目標》

『職員同士が連携し、スキルアップを図り、

一人ひとりのご利用者のニーズに応え、

安心と尊厳のある暮らしの提供を！』

《数値目標》

- ・ 1日平均利用者数 20名以上（定員 25名）

令和2年度事業計画

幸輝園ケアプランセンター「居宅介護支援事業所」

《現状の総括及び課題と問題点》

5月に年号が変わり、10月には消費税引き上げや家族支援の対応の難しさから居宅の契約書の内容を一部変更し取り直しを行いました。また、地域のニーズとして地域包括支援センターからの委託の依頼が多く、介護予防の件数が増加傾向です。

ケアマネジメントの質の向上や個別研修、医療連携、家族への対応に日々業務に追われ各自のマネジメントを振り返る時間の余裕もない1年間でした。

今年度においても、質の高いケアマネジメントが実施できる事業所を目指すだけでなく、ケアマネジメントの質の向上に向けた人材育成等、また事業所の枠を超えた取り組みや地域への参加、専門的かつ考え方、それに見合う行動を、組織的に徹底して「そろえる」ことを課題とし、ご利用者の自立支援、要介護状態の軽減、悪化防止に努め、計画的・総合的に支援に努めます。

《サービス基本方針》

- ① ご利用者・ご家族の在宅生活、介護の支援に努めます。
- ② ご利用者の自立支援と悪化の防止に努めます。
- ③ 医療機関との連携に努めスムーズな入退院の支援に努めます。
- ④ 介護支援専門員としての資質・専門性の向上に努めます。
- ⑤ 地域包括支援センター委託による介護予防支援を行います。
- ⑥ 介護保険制度に則り、コンプライアンスを遵守した業務を継続します。

《行動目標》

「ご利用者が持つ力を十分に発揮できるように支援します。」

《数値目標》

- ・ 要介護 ケアプラン作成数 月平均120件
- ・ 介護予防サービスおよび介護予防マネジメント
プラン作成数 月平均40件

令和2年度事業計画

かがやき「ケアハウス」

《現状の総括及び課題と問題点》

- ・利用者の心身機能の低下や認知症状の出現が見られるようになり、利用されている方々の中で日常動作の差が顕著になってきている。その為、体調不良の早期発見及び心身機能の活性化を図ることが必要とされる。
- ・利用者一人ひとりに対するリスクを分析し、事業所内及び他部署と情報を共有しながらリスク回避を図る。また、継続的にご家族とのコミュニケーションを図ることで、ご入居者の現状の報告等、ご家族と共に利用者の「かがやき」での生活を支えていく必要がある。
- ・利用者の心身機能が低下していく過程において、介護サービスが必要な場合には支援内容についても多様となるため、迅速で適切な対応が職員に求められている。
- ・緊急時の対応について、職員間において情報の共有を確実に行う。

《サービス基本方針》

- ・利用者の「思い」を大切に、自立した生活が送れるように支援します。
- ・利用者が健康で安心した生活が送れるように努めます。
- ・温和で笑顔あふれる「生活の場」を提供するように努めます。
- ・利用者のニーズが多様している中、適切な提案や助言が出来るように職員一人ひとりのスキルアップに努めます。
- ・ご家族とのコミュニケーションを図り、利用者の「かがやき」での生活を支えるように努めます。

《行動目標》

「ご家族との結びつきを大切にし、

『安心して穏やかに過ごせる環境づくり』を目指します。」

《数値目標》

- ・定員29名に対し28名を維持する。（月初在籍率96.5%）

令和 2 年度事業計画

みまさか園「介護老人福祉施設」
「短期入所生活介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

職員全員がご利用者に「より良い生活」をとの思いで目的意識をもち、活発な意見交換を行いながら **ONE TEAM** として一年間取り組むことができました。今まで取り組んできた班活動もご利用者、ご家族にしっかりと認知していただけるものとなり、ご家族から信頼を得て活動することができました。

また、前年度の基本方針として取り組んできた接遇に関しても、おもてなしの心で入所者、ご利用者はもとよりご家族、来園者に接することができ、温かい施設との声をいただくことができました。

職員のワークライフバランスに対しても、より働きやすい職場への思いから夜勤の二交代、三交代の混合制を取り入れ夜勤者の負担軽減に繋げることができました。

今後もさらに接遇について取り組みを深め、入所者、ご利用者に安心安全な暮らしを届けるとともに、変わらず地域の中で選び続けられる施設であるよう取り組んでいきます。

《サービス基本方針》

- ・ 研修会を通して接遇について学び実践する
- ・ 他者を気遣い互いの仕事を敬い合う
- ・ 職員の声を活かした職場づくりの推進
- ・ 地域貢献の実践

《行動目標》

『思いやりのある心で礼節をもって他者に接する』

《数値目標》

- ・ 長期入所利用率 96% (1日平均 48人以上)
- ・ 短期入所利用率 85% (1日平均 17人以上)

令和2年度事業計画

ゆうゆうの里デイサービスセンター
サテライト みまさかデイ「通所介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

昨年度よりサテライトみまさかデイを開設、新しい体制でのスタートとなりどのような形でサービス提供を行っていくのか、1年間模索しながら取り組んできました。ご利用者やご家族のニーズに対応できる事業所を目指し、「HAPPY」を合言葉に、サービス提供中はもちろんのことサービス提供外も満足と感動を与えることができるよう励んできました。

今年度は『介護とは自分の未来を創ること』をテーマにご利用者の立場に立ったサービス、必要以上の介護ではなくご利用者の持つ力を最大限活用し、必要な介護プラスその方を支援するサービスを実施していきます。また前年度より取り組んでいるサービス提供外の生活支援も継続し、ご利用者ご家族に多彩な発想を発信しながらニーズにあったサービスを実施していきます。

《サービス基本方針》

- ・ 他職種と連携をとり、ご利用者の立場に立った支援をめざし、原点にもどりご利用者の思い、身体の状態に沿ったサービス提供を行います。
- ・ 笑顔を絶やさず『レッツ！エンジョイ スマイル』『レッツ！スターティング』を合言葉に、職員の活動を活発化させ、ご利用者、職員ともに過ごせる空間を作ります。
- ・ サービス提供中はもちろん、その方の主体的な思いを形にしたサービス提供外支援を継続していきます。

《行動目標》

『自分たちの未来を創るために原点に立ち返り、

ご利用者主体・ご利用者の立場に立ったサービス提供と支援を行います』

《数値目標》

- ・ 目標稼働率 80%（1日平均44名以上）

令和2年度事業計画

ゆうゆうの里ヘルパーセンター「訪問介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

前年度は、ご利用者のご家族が在宅で安心してその人らしい生活が継続できる支援を目標に職員個々の資質向上とサービス均一化のため事業所内研修を確実に実施するとともに、職員全員でご利用者個々の状態や変化についてカンファレンスを定期的に行うことができました。そのことが様々なニーズに対応できる事業所としての成長に繋がった1年でした。今年度はご利用者やご家族皆様に「ゆうゆうの里のヘルパーに訪問してもらって良かった」と思っていただけのように「気付き」と「笑顔」をキーワードに、職員個々の持ち味を活かしながら、様々なニーズに対応できる事業所を目指します。

また、昨年度から美作市の委託事業として産後母子への訪問事業を開始しました。この産後ケア事業は、コンスタントに需要があり現代の福祉支援の重要な一つでもあるため、引き続き取り組んでいきます。介護保険サービス、障害者福祉サービスと同様、様々な需要に対してサービス提供を行うことが共生社会に向けた取り組みになると考えます。そして全てのご利用者の方々に今以上に「満足」していただけるよう取り組んで参ります。

《サービス基本方針》

- ・ 爽やかな笑顔で訪問し、ご利用者が前向きな生活を送るためのキッカケとなれるよう支援します。
- ・ ご利用者の様子をしっかりと観察し、小さな気付きも大切にサービス提供を実施していきます。
- ・ 職員個々の気付きを大切に、ご利用者の少しの変化にも迅速に対応します
- ・ 資質向上とサービス均一化に向け研修を行い、職員個々の資質向上を図ります。

《行動目標》

『ご利用者と職員が共に笑顔になれる時間を共有し、

ご利用者が前向きな生活を送ることができるよう支援します』

《数値目標》

- ・ 実利用者人数 75名（月延べ提供回数 780回以上）

令和2年度事業計画

ゆうゆうの里ケアプランセンター「居宅介護支援事業所」

《現状の総括及び課題と問題点》

美作市の高齢者は増えていますが、介護認定率は下がりサービス利用をする方が減少傾向にあります。また要介護認定については、昨年同様軽い判定が出るケースが続いており、施設入所希望もあまり期間を置くことなく入所ができ、新規利用者獲得が難しい状況です。居宅介護支援事業所の運営は美作地区で3事業所の閉鎖、一人経営の居宅介護支援事業所の合併等厳しくなっている現状があります。居宅介護支援利用者が減少しているものの、お一人の抱えている問題は多種多様であり、またご本人だけでなくご家族への支援が必要なケースが増えています。今後も居宅介護支援事業所の役割を遂行し、地域課題を抽出解決に向け個人の生活を支えること、またご家族支援が必要と実感しています。今後も地域での活動を充実させ、各関係機関と連携を密にとり地域の相談窓口として機能するように努めます。

《サービス基本方針》

- ・ 地域会議への参加と地域の課題解決への協力、実践
- ・ 多職種、他機関との密な連携を図る
- ・ キャラバンメイトとしての活動の継続
- ・ 事業所内外の研修に参加しケアマネジメント実践力を高める
- ・ 加算を確実に算定できるようにしていく（根拠となる書類の確認）

《行動目標》

『自己決定』『自立支援』『自分らしい生活の維持』を基本としたサービス

計画の作成と実施、地域の相談窓口として機能するよう努めます。』

《数値目標》

- ・ 要介護担当件数 85件以上
- ・ 要支援担当件数 20件以上

令和2年度事業計画

さいわい「ケアハウス」

《現状の総括及び課題と問題点》

令和元年度も、ご利用者がケアハウスに住み続けたいとの思いを大切に、安心と笑顔の仲間作りをすすめて来ました。日々ご利用者とコミュニケーションをとる中で、ご利用者の声を聴きながら、楽しみの演出プログラムと、やりたい事が叶えられる満足出来るプログラムを提案し、心身の健康維持と生活意欲の向上に努めてまいりました。

現在さいわいでは、自発的に行動が出来る入居者が増えており、出来ない人への手助けなど今までになかった支え合いの気持ち意識が自然と芽生えています。さいわいというコミュニティの中で、それぞれの役割が出来つつあると感じます。これからも出来る事は自分で行い、出来ない事を支援させて頂き、入居者がお互いに協力しながら自発心を大切にして、不安なく暮らすことができるよう支えていきたいと思えます。

《サービス基本方針》

- ・ 心身機能の維持と生活意欲の向上のため、楽しく感じられるプログラムや、やりたい事が出来るプログラムを提案します。
- ・ 地域住民の一人として、みまチャンネルや広報紙で情報を知り、地域との交流を深めます。
- ・ 体調不良時（身体・精神面の変化）には敏速な対応を行います。

《行動目標》

『自発心を大切にし、

笑顔で安心して生き生きとした生活を送って頂きます』

《数値目標》

- ・ 目標稼働率 15人（15人定数）

令和2年度事業計画

作東寮養護老人ホーム「養護老人ホーム」

《現状の総括及び課題と問題点》

自立の方から要介護の方までご利用者の状態が幅広く、それぞれの方に合った個別の対応が必要になってきています。外部サービスとの連携を取りながら、ご利用者が安心して生活していけるような支援が必要となっています。

また、近隣の市町村担当者と連携を取りながら、地域での活動が困難で支援が必要な方への支援も行っています。

《サービス基本方針》

『自己決定と自尊心を大切にし、笑顔で安心して生き生きと暮らせる生活を送ろう』

『日々の生活から意欲や生きがいを持って楽しみのある生活を送ろう』

《行動目標》

- ① 意欲や生きがいを持って生活していただける様なプログラムを、自ら選択できる様な支援を提供します。
- ② 健康で楽しく、穏やかな生活をしていただける様なサービスの提供を目指します。
- ③ 個別に関わりが持てるよう、少人数でのグループ分けを行う。クラブ活動を定期的に行い、ご利用者様に好きな活動に参加していただく。
- ④ 活動や作品の発表の場を作る。
- ⑤ レクリエーション大会を月2回開催し、勝敗を争う。
- ⑥ 咲クリーンを月1回程度行い、共有部分の清掃を行う。
- ⑦ 希望されるご利用者様に、気候の良い時期にお出掛けを計画する。
- ⑧ 1階の職員配置を定着し、レクリエーションやクラブ活動等やご利用者様に職員といつでも話ができるような雰囲気作りができるよう、職員の意識改善を行う。

《数値目標》

- ・ 月初在籍 60名

令和2年度事業計画

作東寮「介護老人福祉施設」

《現状の総括及び課題と問題点》

昨年は、寝食分離が定着し、利用者に離床して過ごして頂く事ができ活動の幅を広げることにつながった。また、前年度は少ない職員の中でも対応できるよう介護用品や IOC・ICT の活用に着目したが、この取り組みについては予想以上に業務に浸透されず、利用者の生きがいと職員のゆとりに繋がるまでには至らなかった。

《サービス基本方針》

『利用者のことを深く理解し、心通じ合う楽しく穏やかな暮らし』に向けた支援をします。

《行動目標》

- ① 利用者の尊厳と生活を意識して介護にあたります。
 - ・ 施設に関わる全ての人に対し、基本である「気持ちの良い挨拶」を徹底し明るい職場にします。
 - ・ 各々の担当する利用者に対しケアプランのモニタリングを毎月実施し、気づき、気遣いを常に考えるケアをします。
 - ・ 年度を通し様々な企画を実施し、家族に対し「見える化」を提供し施設をみじかなものと感じて頂きます。
- ② リーダーは、チームメンバーのやりたいことに携わり支援と振り返りを行います。
 - ・ チームメンバーの抱えるストレスなどの「言える環境」の受け皿になり問題解決へ取り組みます。
 - ・ 学びの意欲に対しては、積極的に施設内研修や外部研修へ参加しチーム内で共有できるよう支援します。
 - ・ 計画的な職員育成と新人職員プリセプター制度を導入し、マニュアル整備と継続的な指導者の育成します。
- ③ ゆとりあるスマート介護が行える取り組みを行います。
 - ・ 介護用品や IOT・ICT を活用した業務のスマート化を行い、限られた人数でも利用者とともに過ごす時間を持てるような工夫に取り組みます。
 - ・ 養護との行事や交流を通じ、一体感が感じられる施設を目指します。

《数値目標》

- ・ 長期平均稼働率 96%
- ・ 短期平均稼働率 50%

令和2年度事業計画

訪問介護ステーションいぶき「訪問介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

作東寮養護老人ホームでの特定施設入居者生活介護利用者への日常的な支援を行なっています。

要介護認定を受けた状態で入所される方が多く、入浴、掃除などの組み合わせが多くなっています。要介護3以上に認定される利用者も増えています。

非常勤職員の割合が大きいため、効率よく職員配置をおこなっていかねばならない。

《サービス基本方針》

『安全で快適な日常生活を提供します。』

《行動目標》

- ① 環境整備、排泄、入浴介助などサービスの質の向上を目指し、施設内研修などを活用し、快適な日常生活の提供を目指します。
- ② 職員間で連携を取り、残存機能の把握をし、その機能を支える支援をおこないます。
- ③ 多職種連携、他部所連携を行い、情報の共有をおこないます。

《数値目標》

- ・ 外部身体介護1 4,000回数/月
- ・ 外部身体介護2 360回数/月

令和2年度事業計画

養護老人ホーム塩手荘「養護老人ホーム」

《現状の総括及び課題と問題点》

勝田郡老人福祉施設組合から指定管理を受け、令和2年4月1日より事業開始になります。現在塩手荘では、48名で満床状態ではないので、令和2年度をかけて満床状態になるよう、職員体制を整えていく必要がある。

近年各市町村への申し込み状況を見ると、要支援者、要介護者の割合が多くなってきているので、重度者の受け入れ体制に向けての施設内研修、マニュアル整備が課題となる。

《サービス基本方針》

『自立した生活、生きがいのある生活の提供を目指します』

《行動目標》

- ① クラブ活動を通じ、楽しみが持てる毎日を提供します。
- ② 喫茶活動を通じて、職員と利用者が、利用者をもてなす空間を提供します。
- ③ 重度者の受け入れ体制を確立し、満床に向けて介護技術等施設内研修に取り組めます。

《数値目標》

- ・ 月初在籍 55名

令和2年度事業計画

訪問介護ステーションそよ風「訪問介護」

《現状の総括及び課題と問題点》

勝田郡老人福祉施設組合から指定管理を受け、令和2年4月1日より事業開始になります。現在養護老人ホームの利用者で、訪問介護の契約を結んでいない利用者が多く見られるので、要支援、要介護者については全員契約を結び、質の高いサービスの提供をしなければならない。

入浴設備が整っていない状態なので、安全に入浴できるように施設内研修を通じ、介護技術の向上に努めていきます。

《サービス基本方針》

『安全で快適な日常生活が送れるようなサービス提供を行います。』

《行動目標》

- ① 環境整備、排泄、入浴介助などサービスの室の向上を目指し、施設内研修などを活用し、快適な日常生活の提供を目指します。
- ② 職員間で連携を取り、残存機能の把握をし、その機能を支える支援をおこないます。
- ③ 多職種連携、他部所連携を行い、情報の共有をおこないます。

《数値目標》

- ・ 外部身体介護1 2,000回数/月
- ・ 外部身体介護2 180回数/月